



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第4号
令和6年2月13日

2月5日(月)に第4回学校運営協議会を開催しました。授業を見学した後、今年度の総括と次年度の運営方針案について協議しました。

〈校長挨拶〉

- ・12月に実施した学校評価では「確かな学力」「信頼される学校」の項目が昨年度よりもアップした。
- ・人権教育においては、本校での取組をまとめた教育実践記録論文が表彰されるなど評価を受けた。今後は教職員の人権チェックなどもブロック内の小学校へ広げていく予定である。
- ・昨年度よりも「家庭学習の習慣」の値が下がってしまった。来年度は、食育・眠育の推進、および体力向上に向けて取り組んでいく。
- ・部活動地域移行のモデル校として、剣道・サッカー・女子バスケットボール部を地域指導者へとつなげている。今後はブロックに総合型スポーツクラブが設立される計画である。



□ 今年度の学校運営について

12月に実施した学校評価の結果等を参考に、今年度の学校運営について、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「信頼される学校」の4項目を5段階(5:十分達成できた～1:全くできなかった)で評価しました。

項目	評価平均	主な意見
確かな学力	4.4	ICTの利便性を活用するとともに、人間関係づくりの研修会を行うなど、生徒・教員ともに学ぶ機会を多く設定している。
豊かな心	4.7	人種・多様性など学ぶことが多岐にわたるなか、方策がしっかりとたてられている。生徒主体の生徒会活動を実感できた。
健やかな体	4.1	ブロック合同のアウトメディア週間を実施するなど、基本的な生活習慣の定着に向けて取り組み、昨年同時期と比べ保護者の画工評価が上昇している。
信頼される学校	4.9	ボランティア活動が推進され、地域・保護者・生徒が協働して学校を盛り上げようとしている様子が見られる。

〈委員からの主な意見〉

- ・家庭学習については、子どもが何を学んでいるかを分かっていない保護者も多い。子どもの勉強していることに保護者も関心を持ち、子どもに寄り添うべき。
- ・アンケート全体の中で「確かな学力」の項目が他から比べるとやや評価が低いことが残念。ただし、授業を参観してみて、タブレットの活用などの工夫が見られた。
- ・「保護者の思いや願いに対して適切に対応している」の評価が高いことは、先生方の努力によるものだと思う。
- ・若年層とベテラン層の教員チームによる授業改善の取組はとても良い。若い先生方へベテランの技を継承していくことが大切である。また、これからはタブレットとノートなど、デジタルとアナログのハイブリッドな活用が求められる。
- ・「健やかな体」の項目が低いことが心配である。勉強をするうえでも健康や体力は大切になる。家庭が子どもの健康に注意していかなければならない。
- ・学校と地域の連携が素晴らしい。公民館への作品出品や文化祭、ひな祭りへのボランティア参加がとても活発に行われている。
- ・校内の掲示物が素晴らしい。子どもたちが落ち着いた環境の中で学習に取り組んでいることがよくわかる。



委員の皆様、一年間ありがとうございました。